

No.71 シリーズ 教育の窓

八百津町に広がる人道教育  
創作劇「イエフターと七つの灯」の  
取り組みを通して  
八百津小学校

「これからも思いやりの心や人に優しくする心を大切にしていきたい」6年生の子どもたちが「ひびきあい集会」で自信をもって話してくれました。子どもたちは、「夢と志の芽を育む」という学校の教育目標を受けて、杉原千畝氏から学んだ人道精神の願いを引き継ぎ、仲間を大切にすることや思いやりの心を育むように取り組んでいます。

1. 花フェスタ記念公園での上演

11月3日(金・文化の日)、可児市の花フェスタ記念公園において、5・6年生が創作劇「イエフターと七つの灯」を上演しました。野外ステージ「プリンセスホール雅」では約800人分の観客席がいっぱいに、たくさんのお客さまの前で、子どもたちは堂々と演じることができました。子どもたちは、劇をつくり上げていく中で、「ピザを求めるユダヤの人たちはどんな気持ちだろう」「千畝さんは命のピザを発行すると決断したときはどうな思いだったのだろう」など、千畝さんやユダヤの人々の気持ちに思いを馳せ、台詞の言い回しや演技をみんなで作ることを大切にしてきました。そんな思いをしっかりと表現することができたと思います。



またこの日、6年生は杉原千畝氏をイメージした新品種のバラ「クラージュ」の植樹にも参加しました。「クラージュ」の名前の由来は、「勇氣」です。杉原千畝氏が命のピザの発給を決断した、その勇氣ある行動から名付けられました。

2. 名古屋市立平和小学校との交流

11月24日(金)杉原千畝氏が卒業した名古屋市立平和小学校との交流会を行いました。本校の劇を見ていただき、平和小の発表を聞いて、その後、意見交流を行いました。

『はじまりの種のひとつぶがいつか森になる』という詞で始まる挿入歌「君が明日と呼ぶものを」の歌詞にあるように、千畝さんの勇氣ある決断というひとつぶの種が、どんどん優しさとなって広がり、私たちに受け継がれていくことが分かりました」と平和小学校の児童が創作劇を観た感想を発表してくれました。

3. ひびきあい集会

11月25日(土)には「ひびきあい集会」を行いました。第一部には「イエフターと七つの灯」の上演を行いました。上演には、金子町長様をはじめ、

多くの来賓のみなさまや保護者、地域の方など約400人ものお客さまが観に来てくださいました。第二部では「OMOIYARI音楽会」を行いました。八百津小学校では、音楽会やひびきあい集会などで「OMOIYARIのうた」を大切に歌い続けています。



ゲストとして、この曲を作った歌手の藤田恵美さんにお越しいただきました。藤田さんの奏でる演奏・歌声は、本当にすばらしく、子どもたちが感動とあこがれをもった音楽会になりました。



最後に、藤田さんと全校児童と一緒に手話をしながら「OMOIYARIのうた」を歌いました。この歌詞にもあるように、「ありがとう」と言われたら、なぜかうれしくなったよ。OMOIYARIは世界を幸せにする魔法…そんな気持ち忘れずに、杉原千畝氏の人道精神をこれからも受け継ぎ、その功績を伝え続けていきたいと思えます。

創作劇の上演にあたり、地域のみなさまから温かい励ましと応援をいただきました。ありがとうございました。